

## 五重塔の建築

高さ 55 メートル弱の東寺のこの塔は、伝統的な木造建築の中では日本で最も高い建物である。この塔の高さにより、落雷を受けやすくはなっているものの、地震にはとても強い構造になっている。1200 年以上にわたって、東寺の五重塔は地震で倒れたことはない。

塔は継ぎ合わされた 3 本の木の幹から成る心柱を中心に建てられている。柱は五重塔の地面に据えており、一番上の屋根を飾る先端の装飾部分を支えている。

塔の各フロアは独立して設計されており、それらが積み重なった構造になっている。建築に使用されている木材は、釘ではなく、精巧な継ぎ目でお互いに接続されている。地震の際は、建物の重心は安定を保つ。なぜなら、塔の各セクションは心柱とはバラバラに動き、そのことが継ぎ目同士の間で振動を吸収し、逃がす役目を果たす。